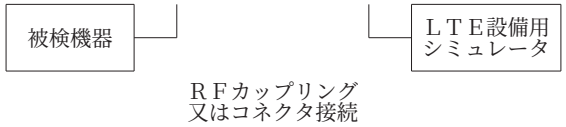
2　測定回路ブロック図は、次のとおりとする。



3　測定手順は、次のとおりとする。

㈠　被検機器からＬＴＥ設備用シミュレータに対して、発信動作を行う。

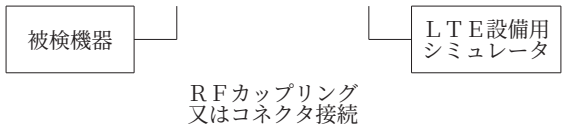
㈡　ＬＴＥ設備用シミュレータと被検機器との間で、通信ができることを確認する。

㈢　被検機器から送出されるメッセージを確認する。

二　基本的機能（応答）

1　測定用機器は、ＬＴＥ設備用シミュレータとする。

2　測定回路ブロック図は、次のとおりとする。



3　測定手順は、次のとおりとする。

㈠　ＬＴＥ設備用シミュレータから被検機器に対して、発信動作を行う。

㈡　被検機器への着信を確認してから、通信開始動作（応答）を行う。

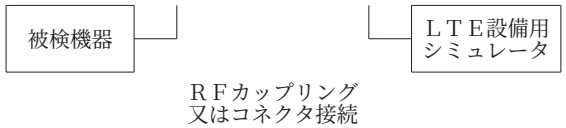
㈢　ＬＴＥ設備用シミュレータと被検機器との間で、通信ができることを確認する。

㈣　被検機器から送出されるメッセージを確認する。

三　基本的機能（切断）

1　測定用機器は、ＬＴＥ設備用シミュレータとする。

2　測定回路ブロック図は、次のとおりとする。



3　測定手順は、次のとおりとする。

㈠　通信中に被検機器から、切断を行う。

㈡　被検機器から送出されるメッセージを確認する。

㈢　ＬＴＥ設備用シミュレータと被検機器との間を通信中にする。

㈣　通信中にＬＴＥ設備用シミュレータから、切断を行う。

㈤　被検機器から送出されるメッセージを確認する。

四　発信時の制限機能

1　測定用機器は、次のとおりとする。

㈠　ＬＴＥ設備用シミュレータ

㈡　オシロスコープ

2　測定回路ブロック図は、次のとおりとする。



3　測定手順は、次のとおりとする。

㈠　被検機器から発信動作を行い、ＬＴＥ設備用シミュレータからは応答メッセージを送出しないでおく。

㈡　被検機器からメッセージが送出されることを確認する。

㈢　選択信号の送出の終了から送信を停止するまでの時間又は発信操作から電波が停止するまでの時間が端末設備等規則（昭和六十年郵政省令第三十一号）に規定されている時間内であることを確認する。

五　送信タイミング

1　測定用機器は、次のとおりとする。

㈠　ＬＴＥ設備用シミュレータ

㈡　オシロスコープ

2　測定回路ブロック図は、次のとおりとする。



3　測定手順は、次のとおりとする。

㈠　ＬＴＥ設備用シミュレータの遅延時間を任意の値に設定する。

㈡　被検機器からＬＴＥ設備用シミュレータに対して発信し、通信状態を確立する。

㈢　被検機器からの信号がＬＴＥ設備用シミュレータに指定されたサブフレームにおいて送信されていることを確認する。

㈣　最後の受信サブフレームと最初の送信サブフレームの時間差をオシロスコープにより測定し、その時間差が端末設備等規則に規定されている時間内であることを確認する。

六　ランダムアクセス制御

1　測定用機器は、次のとおりとする。

㈠　ＬＴＥ設備用シミュレータ

㈡　オシロスコープ

2　測定回路ブロック図は、次のとおりとする。



3　測定手順は、次のとおりとする。

㈠　被検機器に対して、ＬＴＥ設備用シミュレータを正常に応答するように設定し、ランダムアクセス制御を開始する信号を送出する。

㈡　被検機器が当該信号に対して、アクセスプローブ信号を送出することを確認する。